

令和3年度 生駒市環境モデル都市 取組実績

資料 4

環境がまちをつくる

省エネルギーフォーム・リノベーション支援

住宅省エネルギー改修工事補助（建築課）（補助件数 27件）
「いこま空き家流通促進プラットフォーム」において、空き家流通促進検討会議を月に1度開催しながら空き家所有者支援を実施（住宅政策室）（取扱件数22件（内成約件数：20件））
既存住宅流通等促進奨励金（住宅政策室）（補助件数 10件）

太陽光発電システムの加速度的普及促進・既存設備の有効活用

太陽光発電普及促進事業補助
・1kWあたり2万円（補助件数 78件）
全額市民出資による市民共同発電所を運営する「市民エネルギー生駒」が生駒市介護老人保健施設「やすらぎの社優楽」の南法面に5号機を設立。非FIT・完全自家消費型としては初めての太陽光発電所。

燃料電池・コージェネレーションの導入支援

家庭用燃料電池設置補助
・1件あたり4万円（補助件数 224件）
家庭用リチウムイオン蓄電システム設置補助
・1kWhあたり1万円（補助件数 100件）

環境にやさしい移動手段の普及促進

市内の5箇所（市役所、エコパーク21、図書館、北コミュニティセンター・南コミュニティセンター）に設置された電気自動車用急速充電器を引き続き運用
・利用実績 752件、3,372kWh
超小型モビリティ2台の乳児等訪問事業での運用を継続（健康課）
V2Hシステム設置補助
1件あたり5万円（補助件数 2件）

家庭でのエコ取組の促進

省エネルギー診断（うちエコ診断）の実施（参加者33名）

学校・地域への環境出前講座

市民団体との連携により、環境施設見学会（6名参加）、SDGs環境フェスティバル（530名参加）をはじめとした環境啓発事業を実施。いこま市民パワーと連携し市民向けワークショップ「スタイリングウィーク エシカル消費ことはじめ」、SDGs出前講座を実施。

住民や企業、他都市と連携した取組

複合型コミュニティ支援補助
・1つの複合型コミュニティにつき、上限50万円（採択数6団体）
地域新電力会社「いこま市民パワー」との共催により、エシカル消費をテーマとした市民向けワークショップ「スタイリングウィーク エシカル消費ことはじめ」を開催。
SDGs達成に向けて生駒市に関わる企業・団体が連携するいこまSDGsアクションネットワークを設立（63団体登録）
複数のSDGsゴール達成に向けて連携して事業を行う2者以上の団体にSDGs推進事業補助金を交付（2件）

「いこま市民パワー」を基軸とした経済の循環

平成29年に設立された地域新電力会社「いこま市民パワー株式会社」による電力供給を継続。
令和3年4月から、みんな電力株式会社からのバックアップ電力調達を開始。令和3年9月から、市内家庭からの卒FIT電力の買取を開始（申請件数：94件）。

各種EMS導入支援

住宅用エネルギー管理システム（HEMS）設置補助
・1件あたり上限1万円（補助件数 37件）

地産地消サイクル構築に向けた取組

フードドライブを毎週木曜日に実施（回収量 625kg）
生ごみを含む資源回収ステーションを設置した、複合型コミュニティ事業を市内3自治会で実施。イベント等での生ごみ処理によるメタンガスの利用や液肥を家庭菜園や地元農家で活用した。農作物の移動販売を併せて、地産地消のモデルを作った。
食品ロスの削減に取り組む、生駒市食品ロス削減協力店制度を運用開始した。
・登録店 6店舗

環境がひとを育てる

環境が経済を循環させる